

過去問の傾向と予想 (各問の上に書いてある点数は一般的な目標得点です)

| 回次 | 2問 | 3問 | 4問 | 5問 | 合格率 | 必要仕訳正答 | 開催月 |
|-----|---|---|--|--|-------|--------|-----|
| 133 | 14点 伝票→元帳一仕訳日計表 ボリュームが多いので12点で良 | 14点 本支店会計 損益計算書は確実に取ろう 本支店の各利益や支店は× | 18点 本社工場会計 本店側と支店側だが簡単 | 16点 個別の仕掛品勘定と売上原価計算 仕掛品勘定はとうとう | 47.6% | 3問 | 2 |
| 134 | 10点 銀行勘定調整表 現金は少し難しいが当座預金類は比較的簡単 | 14点 精算表 売上原価a/c迷うかもしれませんが、他は比較的簡単 | 16点 C/R・P/L 差異がらみで4点失点までは可 | 12点 直接原価計算 第2期は少し難しいが、第1期関連は比較的簡単 | 13.9% | 5問 | |
| 135 | 9点/18点 減価償却費 建物と減価償却費は確実にとうとう | 16点/22点 精算表 | 12点 部門別配賦表 やはり差異がキーか | 16点 標準原価計算だが、製造間接費だけ開かれたので感しかたか 全経1級してればOKだった | 22.5% | 2問 | 11 |
| 136 | 16点 伝票→元帳一仕訳日計表 シンプル満点も狙えた | 18点 本支店会計 非常にシンプルな問題 満点も | 16点 費目別の仕訳 差異外しても16点 | 10点 直接原価計算 132回と134回の過去問しつかりして 132回は予定配賦以外はいける はずだが... | 41.6% | 3問 | 2 |
| 137 | 16点 銀行勘定調整表 134回よりも簡単 準備できていたはず | 14点 損益計算書 利息や減価償却は難しいが部分点は狙える | 16点 C/R・仕掛品a/c やはり差異の扱いだけ | 16点 個別総合原価計算 P/Lで失点しても、減損もないので16点はいける | 34.6% | 2問 | 6 |
| 138 | 12点 株主資本等変動計算書 仕訳は簡単、一度でも見ておけば | 12点 貸借対照表 月次処理や前払い費用、返品未処理など難解な問題多かった | 16点 個別原価計算の仕訳 製造番号3つなので簡単 1-4は確実にとうとう | 16点 単純総合原価計算 本当は満点としたい ただ、2,3問で憶えていると失点し そう(仕損の取扱) | 26.4% | 3問 | 11 |
| 139 | 14点 固定資産 簡単な問題、落ととも6と記 帳だけ | 14点 貸借対照表+各利益の算定 | 18点 部門別原価計算 予定配賦と差異分析を押さえれば 絶対に通る | 18点 直接原価計算(CVP分析) 非常にシンプルな問題。できれば 満点欲しい | 21.8% | 3問 | 2 |
| 140 | 20点 伝票 非常に簡単な伝票問題です。確実に満点が欲しいところです | 12点 損益計算書 ここ最近と同様、問われ方が難しく なっており、月次などの実務を意識 した内容が増えています。ただ、 138,139回を復習すれば取れる問題 もあるので、取捨選択が大事です | 18点 標準原価計算 本来は満点と書きたいところですが、 最後の利益を失点しても18点 は取れますね | 20点 等級別総合原価計算 過去問の復習で十分に満点が取 れる問題でした。 | 34.5% | 0問 | 6 |
| 141 | 10点 有価証券 基本的な論点だが、金額の大きさや帳簿転記に戸惑った受験生が多かったようです | 16点 精算表 138~140回に比べて非常にやさしい 問題。満点も狙えた内容 | 16点 本社工場会計 (5)の製品への振替の表現に戸惑 うが、(1)から(4)は楽 | 20点 CVP分析 キーストの基本問題レベル 10分程度で満点を取りたい | 11.8% | 2問 | 11 |
| 142 | 10点 株主資本等変動計算書 問われ方が特異的なので戸惑った受験生は多かったでしょう | 14点 貸借対照表 138~140回の難易度に戻った感じ です。ただその30分を実施してい れば14点は確保できた筈です | 16点 標準原価計算 差異分析と記帳の基本的な問題 これは満点が欲しい問題 | 16点 工程別総合原価計算 これも基本的な問題。満点が欲しい 問題 | 14.9% | 4問 | 2 |
| 143 | 10点 固定資産 本試験では台帳部分は対応難 しかったはず。前半部分で10点 確保 | 16点 損益計算書 | 16点 個別原価計算-月次PL 差異分析 | 16点 標準原価計算 差異分析中心(一部帳簿価額) | 25.8% | 3問 | 6 |
| 144 | 10 売上処理一連 | 16 精算表 | 18 個別原価計算勘定記入 | 18 単純総合原価計算 | 13.4% | 2問 | 2 |

<145回予想>

| | | | | | |
|-----|---|--|------------------------------------|---------------------------|------|
| 本命 | 銀行勘定調整表(134回7P) | 貸借対照表と株主資本等計算書 +利益推定問題(139回9P) | 各費目別の仕訳(予定配賦)138 9P:元帳転記も押さえおこう | 個別原価計算(133回9P) | 仕訳 |
| 目標点 | 14点 | 14点 | 16点 | 16点 | 3問確保 |
| | 解答速報137(2問)、フリテ02 | 解答速報139(3問)138(2問) | 解答速報136回4問 | 無料で学ぶ#6個別原価計算 | |
| 対抗 | 消費税の一連の流れ (実務ワンポイント動画) | サービス業の本支店会計 (本店または支店単独) 被支店の可能性も 127回の内報利益なしタイプ | 部門別計算(費+仕訳)139回9P で仕訳問題 | 直接原価計算と全部原価計算 (138回9P) | 仕訳 |
| 目標点 | 18点 | 14点 | 12点 | 16点 | 3問確保 |
| | フリテ10回+実務ワンポイント | 無料で学ぶの新論点1,3 | 解答速報139(4問) | 解答速報136(5問) | |
| 穴 | 有価証券 (社債は購入額、実行額は債の額 で、訂正しておけばよし上げです) | 有価証券-買倒引当金を中心とし た 貸借表の問題 | 本社工場会計(仕訳+PL) | 標準原価計算(記帳と差異分析) | 仕訳 |
| 目標点 | 14点 | 14点 | 18点 | 14点 | 3問確保 |
| | 無料で学ぶの新論点#2,3 | 無料で学ぶの新論点#2 | 解答速報141(4問) | 直前対策講座(無料公開分) | |

「予想の下の動画はすべて無料で視聴できます」

<出題の意図><2級受験のポイント>を踏まえて

4問・5問で最低80%を取ろう→今後もこの傾向はかわらないという事
特に4問の予定配賦をしっかり押さえおこうが、標準原価計算にもつながるので大事です。

次に日商の許容度科目表を1回のみみておく、気になる科目はネットで検索しておきましょう。
それだけでも、当日の科目をみてハニニックにならずに済みます。

試験対策ですが、本来は予想に頼らず、全範囲の論点をしっかり押さえる事が先決です。あまり時間はありませんが、商工会議所が公表しているサンプル問題は実施しておく方が良いでしょう。サンプル問題3(理論問題)は必ず確認しておいて下さい。
商業簿記に関しては過去問5回分をしっかりと実施しましょう。商業簿記は過去問からの出題が多く、新論点以外でも70%は確保できるはずです。
上記の2問、3問対策をしっかりと実施すれば、商業簿記全般(仕訳含む)の得点をUPすることができます。

新論点に関しては、第1問から3問のいずれでも問われる可能性があります。難問は否には影響しないので早めに捨てる決断が大事です。

<144回予想>

| | | | | | |
|-----|---|---|------------------------------------|---------------------------------|------|
| 本命 | 銀行勘定調整表(134回7P) | 貸借対照表と株主資本等計算書 +利益推定問題(139回9P) | 各費目別の仕訳(予定配賦)138 9P:元帳転記も押さえおこう | 追加投入と仕掛品の評価額の 総合原価計算(141回9P) | 仕訳 |
| 目標点 | 14点 | 14点 | 18点 | 14点 | 3問確保 |
| | 解答速報137(2問)、フリテ02 | 解答速報139(3問)138(2問) | 解答速報136回4問 | 予想集141回 | |
| 対抗 | 消費税の一連の流れ (実務ワンポイント動画) | サービス業の本支店会計 (+新論点+投資収益・売上原価・ 電子記録債権・買倒引当金の問 題) | 部門別計算(費+仕訳)139回9P で仕訳問題 | 個別原価計算(133回9P) | 仕訳 |
| 目標点 | 18点 | 14点 | 12点 | 16点 | 3問確保 |
| | フリテ10回+実務ワンポイント | | | | |
| 穴 | 有価証券 (社債は購入額、実行額は債の額 で、訂正しておけばよし上げです) | 本支店会計(本店または支店単 独) 被支店の可能性も | 本社工場会計(仕訳+PL) | 直接原価計算と全部原価計算 (138回9P) | 仕訳 |
| 目標点 | 14点 | 14点 | 18点 | 14点 | 3問確保 |

まずは過去問5回分をしっかりと実施しましょう。特に商業簿記は過去問からの出題が多く、新論点以外でも70%は確保できるはずです。
上記の2問、3問対策をしっかりと実施すれば、商業簿記全般(仕訳含む)の得点をUPすることができます。

また最近では記帳の問題が多いので、4問の工業簿記でも記帳の問題の可能性はあると思います。
また、各専門校や予想会社から「工業簿記-原価計算を得点源にしよう」とあまりにも声高に話るので、日商側はひねった問題を出す可能性があると思います。
表は各問題でしっかりと70%を確保するつもりで学習すれば、合格ラインには届くはずです。特に4問では予定配賦の考え方をしっかり理解して応用問題にも
対応できるようにして下さい。

新論点に関しては、第1問から3問のいずれでも問われる可能性があります。難問は否には影響しないので早めに捨てる決断が大事。
また出題されるとしたら、第1問で売上の問う問題で(投資収益・売上原価・電子記録債権・買倒引当金)を網羅的に出す可能性も高いでしょうか。

第3問で本支店会計の本店のみ・支店のみの損益勘定作成などが出題されたら、通常の決算整理仕訳と転記だけで12~14点は取れます。見慣れない問題で
あせるのではなく、とにかく仕訳をしつかり行って転記できることを転記するのが大事です。また本支店会計は仕訳問題レベルになる可能性が高いと思われ
ます。場合によっては4問で本支店の流れを問う問題の出題可能性もありと考えられます。テキストなどで一連の流れを押さえておいて下さい。